

令和5年度（2023年度） 第1回
函館市文化財保護審議会会議録

開催日時	令和5年（2023年）11月29日（水）10時00分～
開催場所	函館市役所 8階 第4会議室
議 題	<p>(1) 報告</p> <p>ア 文化財の保存整備について</p> <p>イ 文化財の活用について</p> <p>(2) 協議</p> <p>ア 函館市指定文化財の候補物件等について（非公開）</p> <p>(3) その他</p>
出席委員	<p>中村和之会長 川嶋稔夫副会長</p> <p>田中浩司委員 原さくら委員</p> <p>松崎水穂委員 三上 修委員</p> <p>村田敦郎委員 大下智一委員</p> <p style="text-align: right;">(計8名)</p>
欠席委員	<p>練谷喜文委員</p> <p style="text-align: right;">(計1名)</p>
事務局	<p>教育委員会</p> <p>生涯学習部長 文化財課長 歴史文化資源保存活用担当課長</p> <p>文化財課文化財担当主査 文化財課施設担当主査</p> <p>文化財課埋蔵文化財・世界遺産担当主査</p> <p>文化財課主任主事</p> <p style="text-align: right;">(計7名)</p>

議 事 要 旨

(1) 報告

ア 文化財の保存整備について

中村会長	議題の(1)報告のうち、「ア 文化財の保存整備について」、事務局から報告いただきたい。
文化財課長	≪ ア 文化財の保存整備(以下)について説明 ≫ ○ 特別史跡五稜郭跡 ○ 南茅部縄文遺跡群 ○ 埋蔵文化財の保護 ○ 市内文化財保存修理 建造物 遺愛学院(旧遺愛女学校)本館 函館ハリストス正教会復活聖堂 大谷派本願寺函館別院 旧北海道庁函館支庁庁舎 絵 画 釈迦涅槃図 蠣崎波響筆 ○ 学校統廃合に伴う所在地の変更 ○ 重要伝統的建造物群保存地区
松崎委員	釈迦涅槃図はどのような修理になるのか。
文化財課 文化財担当主査	当該絵画は、毎年高龍寺で公開されている大型の資料であり、本紙に縦の切れ、巻き皺による激しい折れや一部は本紙が切れている状態である。 (文化財の保存状態の確認のため)文化財パトロールを実施しているが、度々劣化が指摘され、悪化しているとの指摘もあったので、基本的には掛け軸を一度解体し、傷んでいる部分を補強して表装を新しいものに変えることになる。これまでは、本紙に比べて表装サイズが小さ過ぎるとの指摘もあり、大きな表装に変えるものとなっている。 北海道の指定文化財なので、修理届を提出して仕様を含めて北海道の許可を受けたうえで実施している。
村田委員	五稜郭跡の危険箇所は毎年調査を実施しているのか。
文化財課長	危険箇所は、定点観測のなかで確認できるものもあるが、今回は文化庁調査官による現地指導で、該当箇所が特に危険との指摘を受けたものである。
村田委員	毎年やっているものか。
文化財課長	調査官の現地指導は毎年実施している。
村田委員	もう1点、埋蔵文化財について、現在発掘調査をいくつか実施して

	<p>いるようだが、大船J遺跡と大船E遺跡の調査状況、今までの遺跡との関係性、どのような位置づけにあるかなど、簡単な報告で良いのでお知らせ願いたい。</p>
文化財課 埋文・世界遺産 担当主査	<p>大船J遺跡、大船E遺跡の調査は、国道278号バイパスの延伸に伴って実施された緊急発掘によるもので、縄文時代早期および中期から後期の土器や石器、竪穴建物跡などの遺構が見つかっている。</p> <p>特筆するような出土物はないが、埋蔵文化財の記録保存ということで発掘調査を進めている。</p>
村田委員	<p>今までに出てきた遺跡との関連性は強くありそうか。</p>
文化財課 埋文・世界遺産 担当主査	<p>同じ時期の遺物が見つかってはいるが、はっきり人が動いた、土器が接合したといった直接的な事実は確認できていない。一帯の台地上に人の痕跡が連綿と残されていることが改めて確認されている。</p>
田中委員	<p>南茅部縄文遺跡群のデジタルコンテンツは、多言語対応をどの程度実施しているのか、また、今回供用が開始された（大船遺跡）史跡外の駐車場からは階段でのアプローチとなっているが、障がい者の方々へはどのように対応したのか。</p>
文化財課長	<p>多言語対応については、デジタルコンテンツの中で各遺跡内に設置した案内板が音声で案内できるようになっているが、その案内を多言語対応、英語と中国語（繁体字・簡体字）、韓国語に対応できるようになっている。</p> <p>大船遺跡駐車場の障がい者の方々への対応は、階段部分についてはバリアフリーには対応できていないが、（当該階段とは別の箇所の）史跡内を通っている通路があり、そちらは砂利道ではあるが段差のないものとなっている。車いすでの来客の場合は、遺跡内管理棟横のスペースに車を止めてもらう対応を取っている。</p>
三上委員	<p>五稜郭について確認したい。先ほど、毎年定期的に点検をしているということだが、一般の方が歩く通路が劣化している。通路についての指摘はないのか。</p>
文化財課長	<p>園路の劣化については利用者からの声は聞いている。公園の管理担当である土木部とも情報交換をしているが、大きな整備になるので五稜郭に関する保存活用計画を策定し、計画のなかで（園路について）どのような整備をするかの話も進めていかなければならないと思っている。利用者の安全が確保できない状態になれば、都度補修をすることを考えている。</p>
三上委員	<p>木もたくさんあり、全てが国有財産なのか。</p>
文化財課長	<p>敷地自体は全て国有地となっている。</p>

三上委員	根上がり等が始まると、むしろ劣化が進んでしまうので、事前にここは1年間休ませるといったことをしなければいけない気がしている。この場で決められることではないかも知れないが、少し積極的に話をしていかなければいけないと思う。
文化財課長	ご意見をいただいたので、後ほど詳しい内容を伺い、参考にさせていただきます。

イ 文化財の活用について

文化財課長	《 イ 文化財の活用について説明 》
中村会長	垣ノ島遺跡と大船遺跡の来場者数だが、垣ノ島遺跡の来場者はチケットを買って入る形か。
文化財課長	遺跡に関しては両遺跡とも無料で入場できる。縄文文化交流センターのみ入館料をいただく施設となっている。
中村会長	人数はどのように調べているのか。
文化財課長	垣ノ島遺跡は、入り口ゲートのところにある赤外線センサーでカウントした数字である。
文化財課 埋文・世界遺産 担当主査	大船遺跡は、スタッフによる目視となっている。団体は事前申し込みで分かるので、その他の入館者は目視によって数取器でカウントしている。

(2) 協議

ア 函館市指定文化財の候補物件等について（非公開）

	《 非公開 》
--	---------

(3) その他

文化財課 文化財担当主査	<p>以前の審議のなかで、当審議会における文化財指定の流れ、フローチャートを示すよう意見があったので、これまでの文化財保護審議会の審議経過を整理して資料を作成した。</p> <p>《 文化財指定の流れの提示・説明 》</p> <p>これまで審議会のなかで、指定に至る流れを整理して段階的に審議を進めないと審議がスムーズに進まないとの指摘があったので、今後審議を進める上では、事務局としてもこのような指定の流れを意識しながら議事を進めていきたい。</p>
-----------------	--

中村会長	<p>指定物件の性質によって、一点ものと、動植物の標本などでは、細かく条件を変えなければならないため、その時はそれぞれに相談ということになると思う。</p> <p>特に意見がなければ、今後はこのような流れを確認し、各委員の協力を得、段階的に整理をしながらスピーディーに審議を進めたい。</p>
文化財課 文化財担当主査	<p>新たな指定候補物件の提示について、先ほどの議論のなかでもしばしば出ていたので報告する。</p> <p>以前の審議で、市の博物館や図書館が貴重な資料を所蔵しており、そこから指定候補物件を提示するように意見をいただいた。これについては、次回審議会で候補リストを提示させていただく。</p> <p>あわせて、各委員宛に調査票を送るので、先ほどの「えぞ絵」を歴史物件として審議することも含めて、指定候補物件等の推薦があれば事務局まで寄せていただき、次回はそれらを合わせて提示したい。</p>
歴史文化資源保存活用担当課長	<p>歴史文化資源保存活用担当課長から報告がある。</p> <p>今後の博物館のあるべき姿の検討にあたり参考とするため、本年7月から8月にかけて、市内中学生、高校生を対象として実施したアンケート結果をまとめたので、報告する。アンケートは、市議会総務常任委員会からの提言をもとに実施したものである。</p> <p>函館の将来を担っていく子ども達が、市立函館博物館、郷土資料館、北方民族資料館、文学館、北洋資料館を知っているのか、行ったことがあるのか、行った目的は何か、を調査するとともに、博物館に対する意見や要望をいただいたところである。</p> <p>≪ 「市内中学生、高校生を対象とした『博物館についてのアンケート』結果報告書」について説明 ≫</p>
川嶋副会長	<p>先週の博物館協議会でも報告があり、いろいろと話が出ていたが、たぶんコロナの期間があったうえ、ゴールデンカムイというアニメーションの人気という特殊な状況のため、市民や若い人たちの見方が変わったような状況の中での調査だったので、北方民族資料館を知っている人が想像以上に多かったという結果になっている。少し驚いたが、そういうことも考慮に入れてこの資料を解釈しないと、数字だけを見ていると、いかにも北方民族資料館だけが良く知られていて博物館は全然知られていないという話になる。博物館は若い時に行ったことがあるが、あまり認識されていないということになるのかもしれないので、データは注意深く見た方がいい。</p>
中村会長	私もこの資料を見てすごいと思った。

川嶋副会長	<p>印象として市民は、博物館は知っているが北方民族資料館はあまり意識していない方が多いと感じていた。北方民族の資料を展示している北方民族資料館があることを知らずに、旭川までゴールデンカムイの関連資料を見に行った人の話を聞いていたので、(調査結果は)少し違和感があり、たぶん学校のなかでそういった意識もあって北方民族資料館を積極的に利用したということかもしれないので、それらをきちんと認識しておく必要があるかと思う。</p>
中村会長	<p>他には意見等は特にないようなので、議事を終了し、進行を事務局へ返すこととする。</p>
文化財課 施設担当主査	<p>以上で、令和5年度第1回函館市文化財保護審議会を終了する。</p>